

# Profile



おがた ゆみこ  
尾方 佑三子

- 株式会社ラック  
サイバー・グリッド・ジャパン 副GM  
兼 ICT利用環境啓発支援室長

- ・ 2002年入社
- ・ システムエンジニアなどを経て 2018年より研究部門に所属
- ・ 趣味はキャンプとすきな歌手のコンサートに行くこと

情報リテラシー啓発・研究に取り組む。

また、地域の情報セキュリティ、情報モラル・リテラシー向上のために、全国各地の啓発団体等を支援・連携し、人材育成のための活動を推進中。





**CYBER GRID JAPAN**

## サイバー脅威・国防の研究 セキュリティ意識向上への取り組み

サイバー脅威や国防の研究に加え、産学官の関係者と連携し情報セキュリティや情報モラルに関する教育活動を各地で推進しています。



サイバー・グリッド・ジャパンが発行する  
情報誌「CYBER GRID JOURNAL」

### ナショナルセキュリティ研究所

国家が主体となるサイバー攻撃について、各国のサイバーセキュリティ関連政策や部隊の動向を調査分析し、サイバー攻撃の予兆や先回りした対策を探る

### 次世代セキュリティ技術研究所

社内や社外パートナーと連携し、SecureGRIDアライアンスなど先回り防御を可能とする独自のスレットインテリジェンス生成・分析・共有に関する技術研究をおこなう

### 金融犯罪対策センター（FC3）

金融事業者の“駆け込み寺”として、金融犯罪対策のエキスパートが「金融機関の利用者保護」の視点に立った認証プロセス高度化や不正取引検知などの対策を研究する

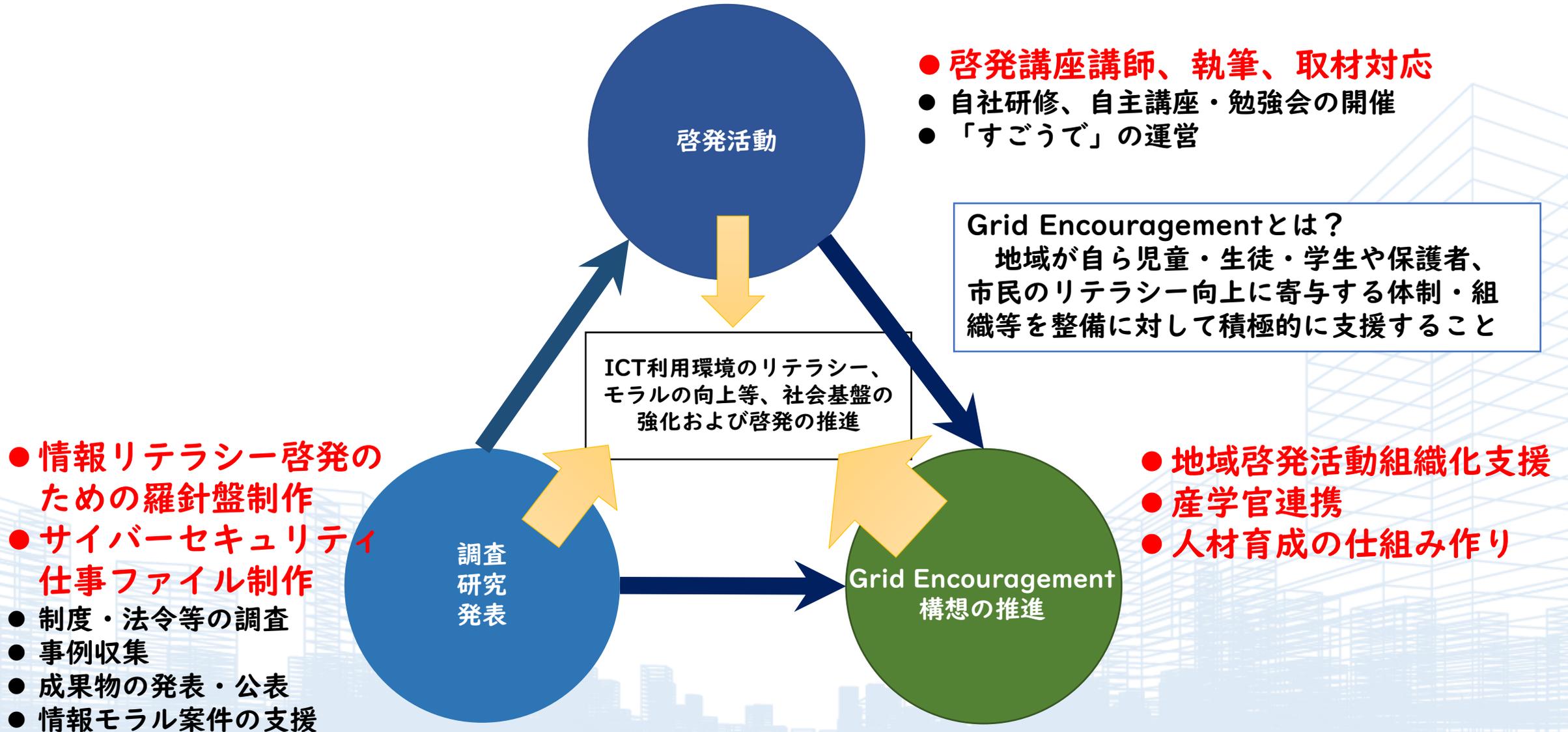
### ICT利用環境啓発支援室

情報モラルやセキュリティの啓発を通じ、ICT利用環境の整備やデジタル社会基盤の強化を推進する

### 団体運営推進室

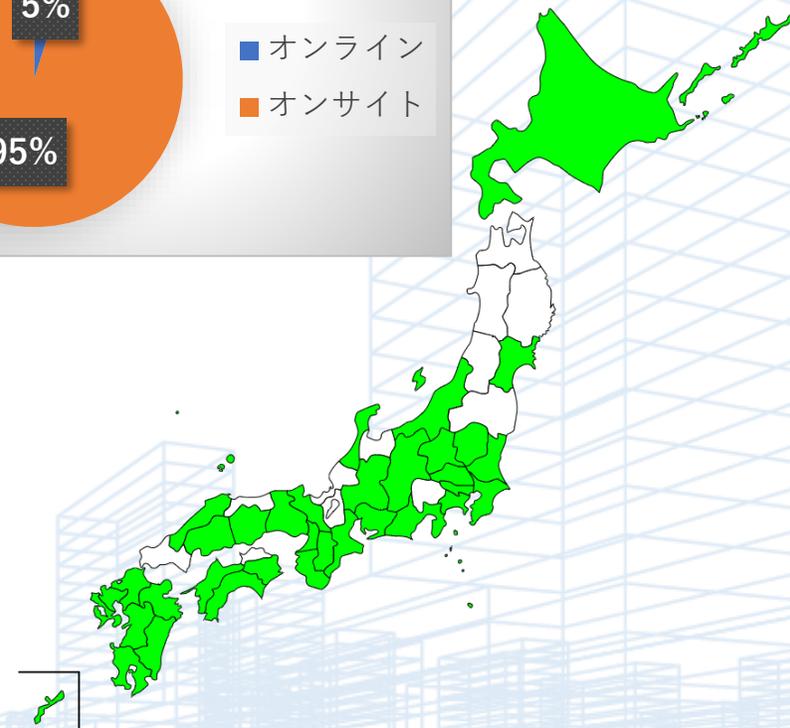
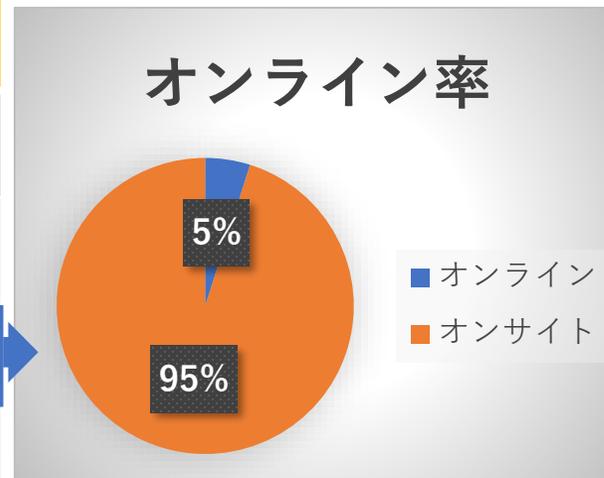
日本全国のセキュリティ向上を目指す様々な団体の活動を、政府や関連組織と連携して支援する

# ICT利用に関する研究活動



# 啓発活動（実績総数）

分類	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
主催・共催	7	21	23	16
協賛・協力	6	4	12	15
講演・発表・報告	150	162	206	214
執筆・監修	10	3	11	9
会議出席	24	14	23	35
高校生ICT Conference	3	5	5	9
合計	200	209	280	298

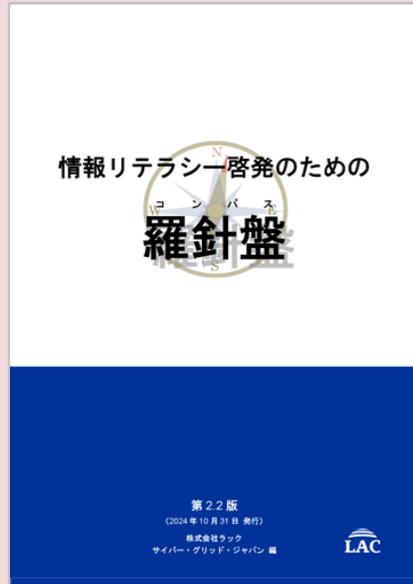


令和6年度は、214 講座を実施

対象：小・中・高等学校、特別支援、大学、保護者、教員、行政職員、ネットアドバイザー等

# 情報リテラシー啓発のための羅針盤 (コンパス)

## 情報リテラシー啓発のための羅針盤



- 3分野37項目のインシデント別に啓発すべき内容を記載
- インシデント項目ごとに啓発内容や関係法令、事例等を分かりやすく解説

## 影の側面 (インシデント)

## 情報リテラシー啓発のための羅針盤 参考スライド集



- 啓発講座を行う際に使えるスライド集(羅針盤の内容を反映)
- インシデント項目ごとに羅針盤の内容を踏まえた参考スライドを用意

## 情報リテラシー啓発のための羅針盤 情報活用編



- ICTや情報メディアの活用について整理し啓発すべき内容を記載
- ICTや情報メディアの活用の中で発生するインシデントについて既存「羅針盤」と連携

## 光の側面 (情報活用)



株式会社ラック 羅針盤



# サイバーセキュリティ仕事ファイル



- ・2025年11月リリース
- ・全74ページ
- ・小学校5年生以上で習う漢字にルビあり
- ・サイバーセキュリティの24職種と  
コラム4種類を紹介
- ・冊子版配布累計20,000部以上  
※『サイバーセキュリティ仕事ファイル1』『サイバー  
セキュリティ仕事ファイル2』含む

# サイバーセキュリティ仕事ファイルに掲載している職種

1	インシデントハンドラー	13	高校情報科の先生
2	コンピュータフォレンジッカー	14	大学教授
3	プラットフォーム診断士	15	サイバーセキュリティ研究者（技術）
4	Webアプリケーション診断士	16	サイバーセキュリティ研究者（社会心理学）
5	サイバー犯罪捜査官	17	弁護士
6	セキュリティインストラクター	18	サイバー防衛隊（自衛隊）
7	ゲームセキュリティ診断士	19	サイバーセキュリティ会社の経営者
8	情報システムペネトレーションテスター	20	最高情報セキュリティ責任者（CISO）
9	IoTデバイスペネトレーションテスター	21	セキュリティアナリスト
10	セキュリティコンサルタント	22	フィッシングハンター
11	脅威情報アナリスト	23	アンダーライター
12	リスクマネジメント（リスクマネージャー）	24	インシデントマネージャー

コラム1 サイバーセキュリティやサイバー攻撃って、何だろう？

コラム2 未経験でサイバーセキュリティの仕事をするについて

コラム3 算数や数学が苦手でもサイバーセキュリティの仕事ができる？

コラム4 CSIRT（シーサート）って何のこと？

# システム開発仕事ファイル

・2025年3月リリース

・全32ページ

・「ネットショップを作ること」がテーマ

・システム開発に関わる7つの職種と  
コラム3種類を紹介



1	ITコンサルタント
2	プロジェクトマネージャー (PM)
3	UI/UXデザイナー
4	ITアーキテクト
5	インフラエンジニア
6	アプリケーションエンジニア
7	システム運用エンジニア (運用・保守)



# サイバーセキュリティ仕事ファイルに掲載している職種

1	インシデントハンドラー	13	高校情報科の先生
2	コンピュータフォレンジッカー	14	大学教授
3	プラットフォーム診断士	15	サイバーセキュリティ研究者（技術）
4	Webアプリケーション診断士	16	サイバーセキュリティ研究者（社会心理学）
5	サイバー犯罪捜査官	17	弁護士
6	セキュリティインストラクター	18	サイバー防衛隊（自衛隊）
7	ゲームセキュリティ診断士	19	サイバーセキュリティ会社の経営者
8	情報システムペネトレーションテスター	20	最高情報セキュリティ責任者（CISO）
9	IoTデバイスペネトレーションテスター	21	セキュリティアナリスト
10	セキュリティコンサルタント	22	フィッシングハンター
11	脅威情報アナリスト	23	アンダーライター
12	リスクマネジメント（リスクマネージャー）	24	インシデントマネージャー

コラム1 サイバーセキュリティやサイバー攻撃って、何だろう？

コラム2 未経験でサイバーセキュリティの仕事をするについて

コラム3 算数や数学が苦手でもサイバーセキュリティの仕事ができる？

コラム4 CSIRT（シーサート）って何のこと？

# システム開発仕事ファイル

・2025年3月リリース

・全32ページ

・「ネットショップを作ること」がテーマ

・システム開発に関わる7つの職種と  
コラム3種類を紹介



1	ITコンサルタント
2	プロジェクトマネージャー (PM)
3	UI/UXデザイナー
4	ITアーキテクト
5	インフラエンジニア
6	アプリケーションエンジニア
7	システム運用エンジニア (運用・保守)

やってみよう!  
情報リテラシーカードゲーム『リテらっこ』

- 『リテらっこ』は、世の中のインターネット上のトラブルをカードゲームを使って体験するゲームです。
- 自分や家族・友人がトラブルにまきこまれたときに、どうすればよいかを考えることができます。
- 話し合いを通じて、最善のアクションを考えてみましょう！

# ルール説明

# 1. ゲームで使うもの

## カードが2種類

### 【インシデントカード】(76枚)

- 最初にめくる「お題」となるカード
- インターネットにおけるインシデント(トラブル)を記載

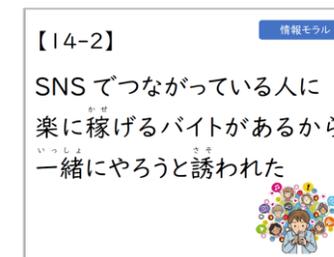
### 【アクションカード】(100枚)

- インシデントが起きたときに行うアクション(行動)を記載
- 各チームに5枚ずつ配られる
- 手持ちのカードを駆使して回答

## プラス

### 【らっコイン】

- ポイントとして使うコイン

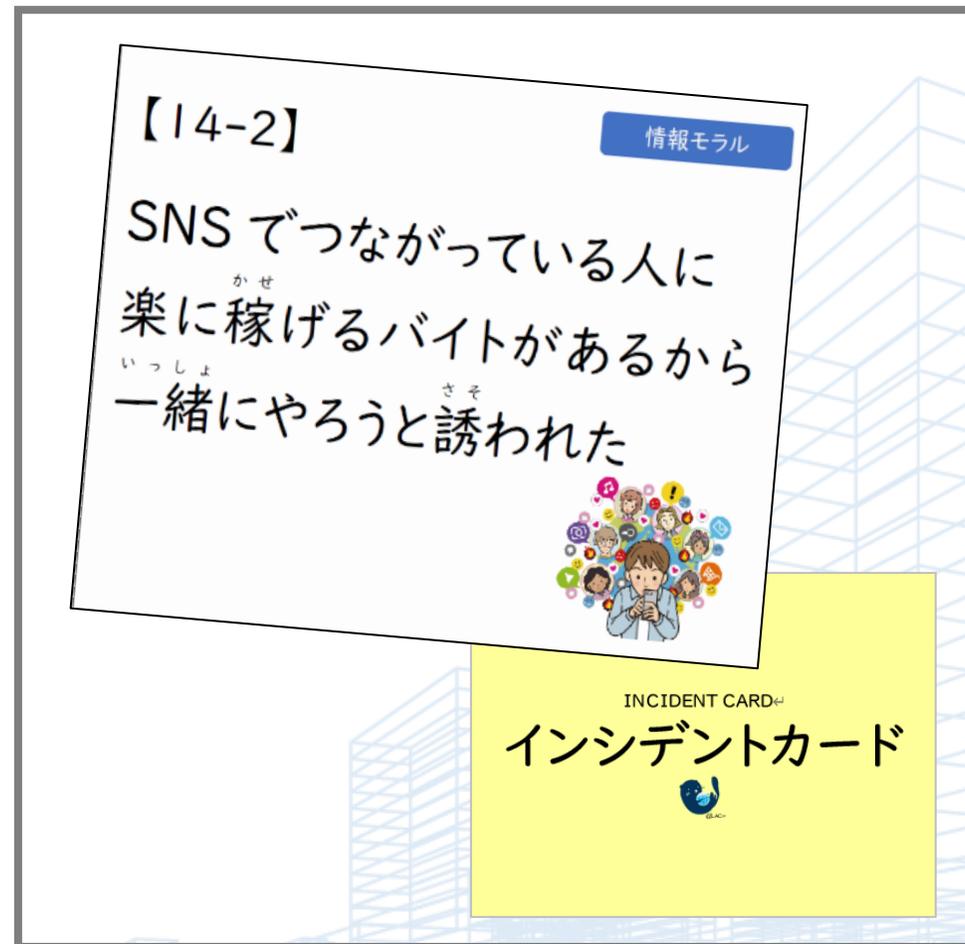


(裏面)

### ① お題を確認

ゲームマスターがインシデントカードを1枚めくったらゲームスタートです。

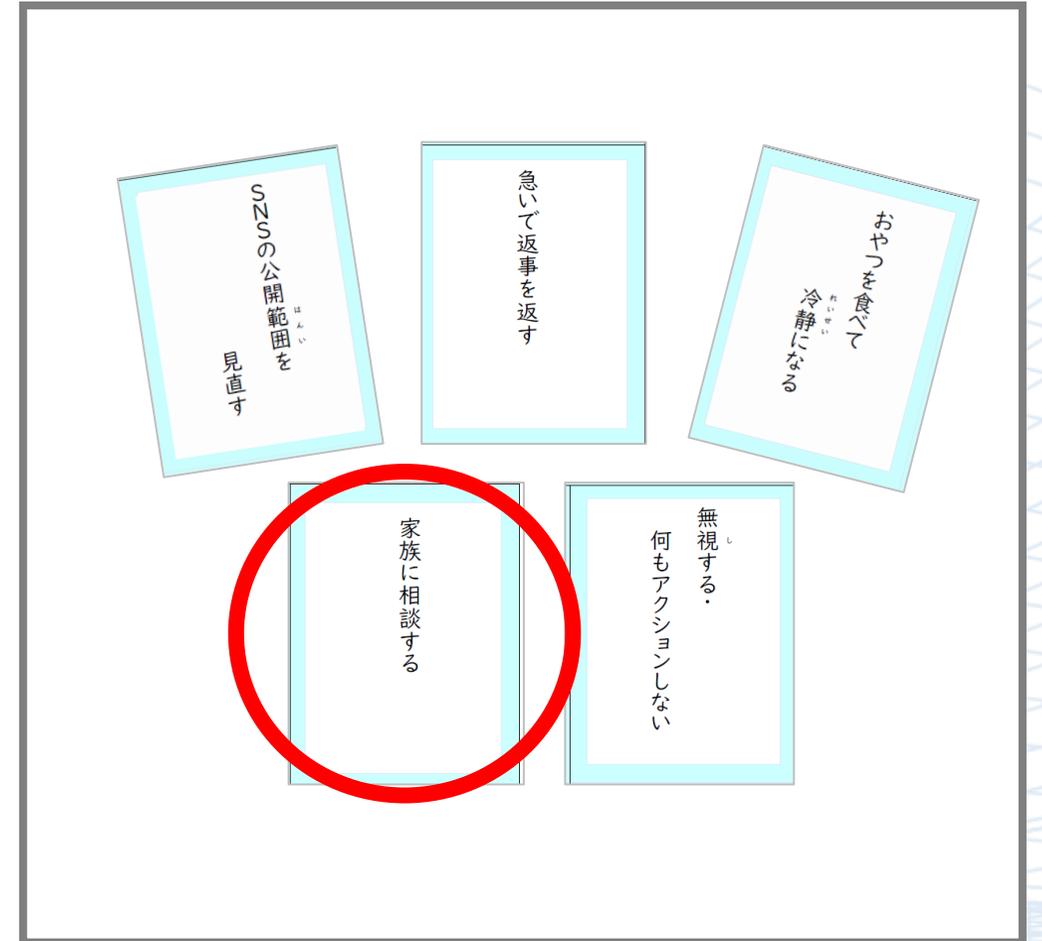
自分だったらどうするか、もし友達や家族がこのような状況にあったらどんな行動をとれば良いかということを考えながらゲームに参加してみてください。



## 2. ゲームの遊び方

### ② 出すアクション（行動） を考える

各プレイヤーは事前に配布された  
アクションカードから、インシデントに対  
して最初にとったら良いと思うアクショ  
ン（行動）を1枚決めます。



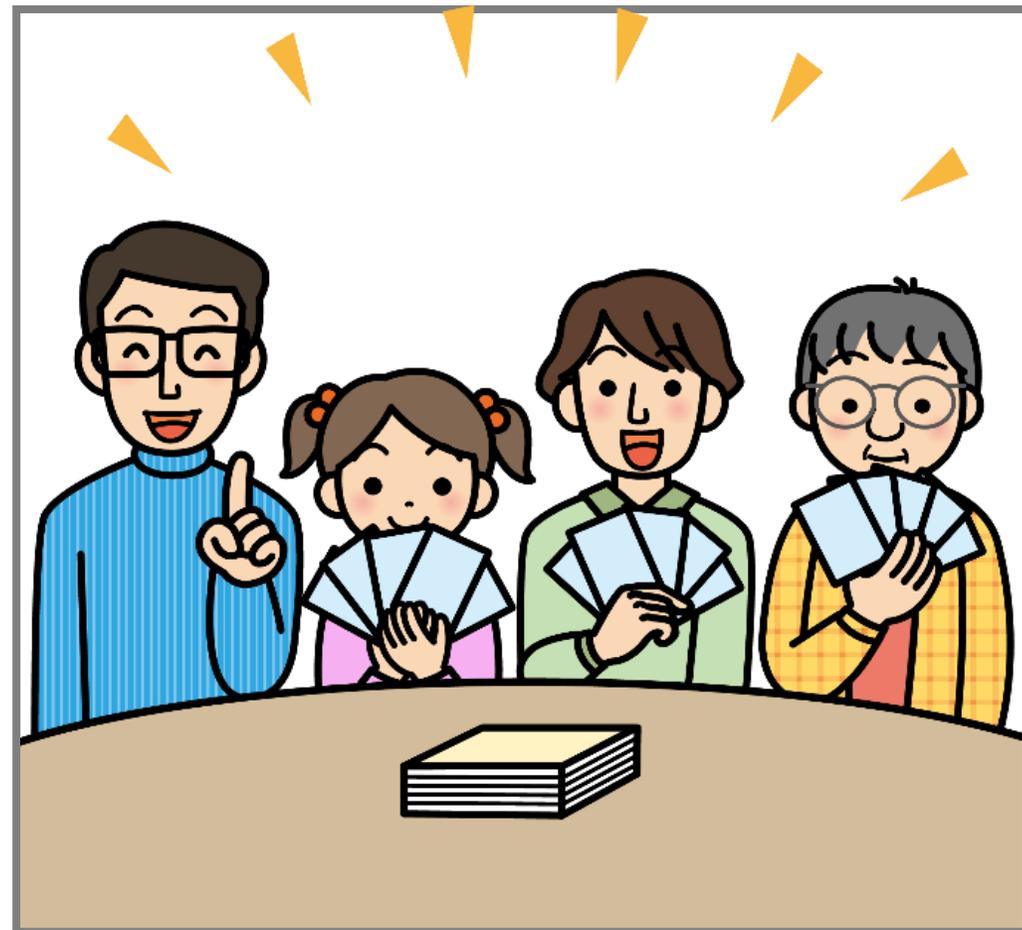
### ③ どうやって切り抜けるか アイデアを説明する

選んだアクションカード1枚について、

「どうしてそのカードを選んだのか」

「どうやって状況を切り抜けるのか」

自分のアイデアを説明してください。



### ④ グッドアクションを決める

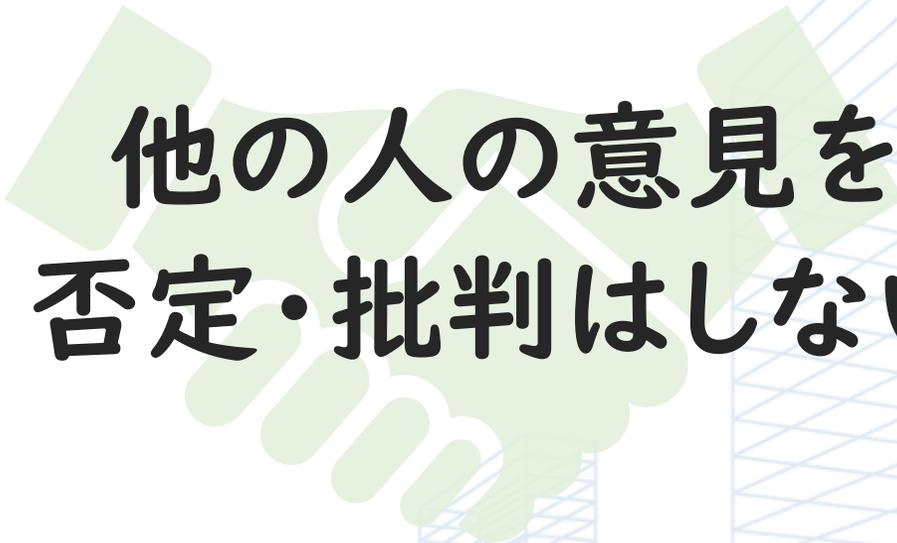
それぞれが出したアクションカードのうち、最初にとったらよい行動「グッドアクション」を決めていきます。

「グッドアクション」に選ばれたプレイヤーは「らっコイン」を2枚獲得できます。





考えることを  
楽しもう!



他の人の意見を  
否定・批判はしない



※本資料は作成時点の情報に基づいており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※本資料に掲載の図は、資料作成用のイメージカットであり、実際とは異なる場合があります。

※本資料は、弊社が提供するサービスや製品などの導入検討のためにご利用いただき、他の目的のためには利用しないようご注意ください。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。